

# 祐善寺だより

第31号

発行日

2013年10月11日

真宗大谷派 祐善寺 住職/岡崎 賢 福井県丹生郡越前町上糸生20-2 TEL 0778-34-5170 FAX 0778-34-5170



苦悩は

人間の

在り方である

金子大榮

## 法句に憶う

住職 岡崎 賢

私たちは皆、日々の暮らしの中で様々な苦しみや悩みを抱えながら生きています。『いいこと』があっても長続きしないで、すぐに、『いやなこと』や、『心配事』ばかりが、自分の精神生活の主流を占めてしまいます。あれこれ愚案を煩わしていると、不安にさいなまれて、いつまでも眠れないということもあります。他人にとっては何でもないことが、自分にとっては身を切られるほど苦しいことがあります。それは、私たち一人ひとりの顔が違うように、私たちが持っている「ものさし」が、全て異なっているからです。

私たちは多くの場合、自分の「ものさし」で善悪を判断し、幸不幸を決め、自分の「ものさし」からみ出た者を切り捨てようとしているのではないのでしょうか。

元々、この人間の娑婆では、自分一人ひとりの「ものさし」で善悪を測ることに無理があります。親鸞聖人は、「思い通りにならぬ世界が娑婆である」と、教えてください。つまり、煩惱

の着物をすっかり身に着けた人間同士がぶつかり合う世界を娑婆というなら、自分の「ものさし」通りに事が運ぶはずがありません。そこに、私たちの苦悩の原点があるのではないのでしょうか。

しかし、よくよく考えてみると、煩惱を離れて人間の生活はありえません。言い換えれば、煩惱がゆえに、どうしようもない苦悩が同居しています。この苦悩に私たちは、一生付き合っていくかねばなりません。それゆえ、私たちは一人一人が、共に苦悩する存在として、互いの苦しみに共感共苦する関係性の中にこそ、救いの世界が開かれてくると言えるのです。

「思い通りにならない世界が娑婆である」という親鸞聖人の言葉を受け入れられるときに、苦悩に満ちた私たちの暮らしの中に、真宗（救いの世界）が開かれてくるに違いありません。共に苦悩する同朋として、苦しみから逃げ出すことなく苦しみに寄り添う優しさが求められているのです。

楽しかった!

# 祐善寺納涼祭

## 二〇一三



祐善寺の門徒総会で、今年も大事な事業の一つとして納涼祭の開催が決定されました。これは、ご先祖を祐善寺で眠らせて頂いている門信徒の老若男女が中心となつて、気軽に集まつてお勤めをしたりゲームや歌を楽しんだり、お食事をするなどのことから始まります。そうした楽しい活動を重ねる中で、お寺との新しい関係を築くと共に、最近家庭で失われかけているお念仏のある暮らしを取り戻そうというのがその根底にある本来のねらいです。

門徒総会の決定に基づいて複数回の役員会、実行委員会の立ち上げ、役員会と実行委員会の合同会議等での審議を重ねて準備を進めました。こうして七月十五日の午後三時からの開催にこぎ着けたのです。今年も四回目ということで、手際よく進んだ部分もありましたが、それでも実行委員の皆さんは、暑い中で皆のために懸命に頑張つて下さいました。本当に頭の下がる思いです。皆さん

のご努力で、お集まり下さったほぼ百名の方々には、最後までお楽しみ頂き、今年もまた誠に意義深い納涼祭になりました。

ご参加して下さい下さった方々をはじめ関係の皆さんに、改めて心から御礼を申し上げます。有り難う御座いました。

以下、楽しかった納涼祭の一端をご紹介します。(N)



お勤めの稽古をしました。ちょっとだけ難しかったです。後ろのおばあちゃんは上手でした。



御住職が上手いのはお経だけではありませんぞ。

ママとした輪投げも楽しかったよ。



実行委員長さんの閉会挨拶

「楽しかったですね。そして美味しかったですね。来年もまたね。有り難う御座いました。」

### 第4組夏期講習会が祐善寺にて開催!!

真宗大谷派 福井教区第4組夏期講習会が祐善寺で8月30日小雨の中開催されました。

13時30分より、開講式と勤行が行われた後、法話に滋賀県長浜教区清休寺住職の泉恵機師の「聞法と求道」何が願われているか」の講話が休憩をはさんで2時間以上ありました。

約80人の参加者からは「うなずき」や「笑い」とで時間をオーバーし大拍手の内に閉講となりました。

第4組役員からは遠い糸生での開催と駐車場が心配だったが、「良くやった」「ご苦労さん」と声をかけられうれしかったです。

※第4組とは嶺北地方の旧清水町、鯖江市、越前町一部のお寺で構成されています。祐善寺が入っています。

夏期講習会は毎年8月30日に第4組内のお寺で行われている行事です。(W)





# 花だより

『お宝さん』

母が後ろからそつと私を抱いた  
あの時感じたほのかな香りは  
七十余年の時間の中で  
徐々に薄らぎ消えていった  
だが 言葉の響きだけは  
今もかすかに残ってる

『お宝さん』

なんて優しい響きだろう  
心を温め 慰めて  
元気づける魔法の言葉が

私にも『お宝さん』はある  
家族 友達 ご近所さん

そつそつ 花も蕾も赤い実も  
あれもこれも  
私の大事なお宝さん

巡る季節に合わせて  
お宝さんが話しかけてくる  
春には春のお宝さんが  
秋には秋の…

\*\*\* 春 \*\*\*

\*ライラック

ピンクのこの服素敵でしょ。  
私 とっても好きなよ



\*ユキノシタ

私ね、冠がぶったお姫様って  
言われますの  
そんなに可愛いかしら



\*\*\* 秋 \*\*\*

\*秋海棠

□紅つけて着飾って  
私これからデートなの



\*コスモス

そよ風にゆらりゆらりと  
イイ気持ち  
お浄土もこんな感じなの？



お宝さんを育む心を

大切にしよう

明日もまた

心豊かに生きるために

(軍)

## 平成25年度護持費の志納よろしくお願ひします

祐善寺を永代に亙つて護持  
していただくために、護持費を  
お願ひしておりますが、今年も  
次のお願ひご志納下さいますよ  
うよろしくお願ひします。

### ◇護持費の使途

- ・ 報恩講の厳修費や教化事業の実施
- ・ 本堂を守る火災保険や環境維持費用
- ・ 本山相続講、福井教区賦課金等
- ・ その他

### ◇年額

一戸平均 一〇、〇〇〇円

### ◇志納方法

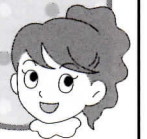
- ・ 寺へ直接志納する
- ・ 秋まわりや法事で住職が貴家を訪問の際に志納する
- ・ 地区の役員さんに志納する
- ・ 郵便振替口座  
(〇〇七七〇―九一三〇七二一)
- ・ 加入者⇨祐善寺

へ振り込む

### ◇志納期限

毎年十一月末日

# 祐善寺門徒会婦人部発足



数年前から役員会のおときに、祐善寺に婦人部ができるというのでは、という話がでていました。いい事だと思いましたが、発足させるには、いろいろと大変だとの思いがよぎりました。今年5月の役員会のおとき、奥さま方にも出席していただき、婦人部立ち上げについての話し合いを合同で行いました。9月の役員会で発足させる事が決まり、役員のおときまたちと共に始めさせていただきますことになりました。坊守さまにも入っていただきたいと思っております。ご門徒の女性の皆さま全員が婦人部のお仲間になつていただくと嬉しいです。

どのような事ができるのか、どのような事をしていけばいいのかなどは、話し合つて決めていきたいと考えています。1年にひとつ、ふたつ程度のできる事からはじめ、負担にならずにやっていければと思っております。祐善寺に集まるということ自体、意味のある事だと思えます。緑多くて澄んだ空気の祐善寺に集い、顔を合わせお話をかわすことから、喜びがひとつ、ふたつと増えていく

ことでしよう。そうなることを願っています。

婦人部についての、みなさまがたの思いもお聞かせくださると嬉しいです。

(桑原文子)



成夏 お見舞い申し上げます。

毎日、不安定な天候の日が続いていますが、お元氣にお過ごしのことと思います。

先日は「祐善寺だより」をお送りいただきましたのに、お礼が遅れまして申し分けありません。お忙しい日々を送っていらっしゃる内、本当に大変有難く思っております。

又、夏祭りも盛会であることを願ひまして、御挨拶とさせていただきます。どうぞお元氣でお過ごし下さいませ。

函館市 中山 諦子 かしこ

暑中お見舞い申し上げます。例年になく厳しい暑さが続いています。ご尊家ご一同様にはお変わりなくお過ごしのことと拝察いたしております。

祐善寺だより三十号をお送りいただき有難うございました。

私達もお陰様で元氣に過ごさせていたただいており、毎日各種ボランティア活動に参加させていただきながら、残された人生、悔いの残らないよう過ごしたいと考え、地域社会への貢献を念頭に消日しております。

参議院選挙もいよいよ投票日を迎えました。選挙後は与党のみならず野党も一丸となって我が国の国益のため何が必要かを考えながら、最善をつくしていただくことを期待しています。

当分暑さが続きますが、ますますのご健勝をお祈り申し上げます。

平成二十五年 盛夏

長崎県大村市 島 信行

## おくやみ

清水智子様(福井市花堂)には、平成二十五年七月十二日、行年七十歳にて往生の素懐を遂げられました。

ご生前中のご功勞に、心より深謝申し上げます。



渡邊嘉征様(福井市真木)には、平成二十五年九月六日、行年七十一歳にて往生の素懐を遂げられました。

ご生前中のご功勞に、心より深謝申し上げます。



桑原良子様(福井市)には、平成二十五年九月二十二日、行年九十歳にて往生の素懐を遂げられました。

ご生前中のご功勞に、心より深謝申し上げます。



# 御伝鈔(上)講座

## 第6回

救世菩薩はすなわち儲君の本地なれば、垂迹興法の願をあらわさんかのために、本地の尊容をしめすところなり

救世菩薩は聖徳太子の本地であるので、聖徳太子という仮の姿から、仏法が興隆せよとの願いを表すために、菩薩の本質の尊い姿をしめされたのであります。

そもそもまた、大師聖人源空、もし流刑に処せられたまわすは、われまた配所に赴かんや、もしわれ配所におもむかずは何によりてか辺鄙の郡類を化せん。

そもそもまた、大いなる師匠である源空上人が、もし流刑に処せられなかつたら、私は、配所に行くはずがありません。もし私が配所に行くことがなかつたならば、どうして、辺境に群がる人々を教化できたでしょうか。

これ猶師教の恩致なり。大師聖人すなわち勢至の化身、太子また観音の垂迹なり。このゆえにわれ二菩薩の引導に順じて如来の本願をひろむるにあり。

これなお、師の教え御恩のしからしむところであります。大いなる師である法然上人は、すなわち勢至菩薩の化身であり、聖徳太子は、観音菩薩の仮の姿であります。だから、私は、二菩薩の導きにしたがって、如来の本願の教えを広めるのであります。

真宗茲によつて興じ、念佛斯によつて爛なり。是しかながら聖者の教誨によりて、更に愚昧の今案をかまえず。かの二天士の重願、ただ一佛名を専念するにたれり。

真宗はこれによつて興り、念佛はここによつて盛んになったのです。ただ、しかながら、聖者の誠にしたが、さらに愚かさをわきまえるべきです。この二菩薩の重い願いは、ただ、弥陀一佛のみ名をもつぱら称えることに尽きるのであります。

いまの行者、あやまりて脇士に仕うることなかれ、ただちに本佛をおおべしと云々。かるがゆえに聖人親鸞、かたわらに皇太子を崇めたまう。蓋斯、佛法弘通の浩なる恩を謝せんがためなり。

今の念仏の行者は、あやまって本尊の脇の菩薩に仕えてはいけません。ただちに、阿弥陀仏を仰ぎなさい。だからこそ、親鸞聖人は、かたわらに皇太子を崇められるのであります。思うに、これは仏法が広まっていることの大いなる恩に感謝するためであります。

「御伝鈔」(本願寺聖人伝絵)とは――

浄土真宗の宗祖、親鸞聖人の生涯を絵詞に著したもので、詞は、親鸞聖人の曾孫である覚如上人(本願寺第三世)の撰述です。親鸞聖人の没後、三十三年の永仁三年(一二九五年)に十三段からなる初稿本が作られました。建武三年(一一三三年)の戦火により本願寺と共に、焼失してしまいました。康永二年(一二九六年)に書き直されるのを機に、御伝鈔と御絵伝を別仕立てにされ、上巻八段・下巻七段の十五段と二段増補されました。

詞の部分「御伝鈔」、絵の部分「御絵伝」と呼び、各寺院の報恩講において「御絵伝」を余間に奉掛し、厳肅に「御伝鈔」が拝読されます。

### 其の27



### 火葬・還骨

火葬場に着きますと、順次焼香をし、荼毘(火葬)にふします。火葬にかかる時間は、約1時間です。この間、控室で待つこととなります。控室では、お互いに故人を偲ぶとともに、通夜などのときにお話しいただいた住職の法話(浄土真宗の話)を思いおこし、深く味わうことも大切なことです。

火葬が終わりますと、遺骨をひろい、壺に納めます。遺族は、身近な人の生身の姿からお骨になるまでの姿を、短時間のうちに目の当たりにすることになります。このような姿に接しますと、いよいよ人間の空しさ・はかなさが実感されることでしょう。

「朝(あした)には紅顔ありて夕べには白骨となれる身なり。野外におくりて夜半のけぶりとなしはてぬれば、ただ白骨のみぞのこれり。人間のはかなき事は、老少不

定のさかいなれば、たれの人もはやく後生の一大事を心にかけて、阿弥陀仏をふかくたのみまいらせて、念仏もつすべきなり」

これは、蓮如上人の「白骨の御文」の一節です。私たち人間は、朝には元氣な姿であっても、夕には白骨となる身を生きています。老人も若者も区別なく、誰もが同じ無常の身を生きています。いつ死を迎えるかわからない身だからこそ、何はさておいてもただ今の人生に心を向けて、南無阿弥陀仏を真の依り所に生きなければなりません。

蓮如上人が語る「念仏もつす」人とは、無量の寿(いのち)に目覚めて生きる人です。それは、悔いのない確かな人生を知った人です。

さて、遺骨と共に自宅に戻りますと、お内仏(仏壇)の近くに壇を設けて遺骨を安置して、お勤めをします。このお勤めを「還骨勤行」といいます。この勤行のおり、今の「白骨の御文」が拝読されます。心静かに拝聴したいものです。きつと、蓮如上人の語りかけが亡き人の問いかけと重なって聞こえるに違いありません。

お内仏がない場合のお飾り等については、住職にお尋ねされるとよいでしょう。(サンガ)より

# お知らせ



## 報恩講御案内

十一月二日(土)

日中 午前十時

御齋 午前十一時半

速夜 午後一時半

布教 出雲路善公師

つきましては、親鸞聖人の御遺徳を偲び、右の通り報恩講を厳修いたしますので、万障お繰り合わせの上、御家族、御近所、御法友お誘い合わせの上、何卒御参詣下さいますよう、御案内申し上げます。

ボランティア募集!!

## 雪囲い作業奉仕

と き 11月10日(日)

8時集合(午前中)

持 物 鎌(カッター)、軍手、合羽(悪天時)等

昼 食 用意します。

傷害保険 加入します。

作業内容

雪囲い作業は、高所での作業ばかりでなく、高所が苦手な方は、下で雪囲いシートのヒモ結びや資材運び等の作業もありますので、ご都合のつく方は、是非ご協力をお願いします。

お願い

甚だお手数ながら、ご協力いただけます方は、前日までに祐善寺へご連絡下さいますよう、お願いいたします。



## 平成二十五年度の 年忌法要を お勤め下さい!

本年度の年忌は左記のとおりでございますので、貴家の過去帳等をご確認していただき、皆様にとられてかけがえのないご先祖様の年忌法要を是非、勤めて下さいますよう、お願いいたします。

- 五十回忌 昭和三十九年没
- 三十三回忌 昭和五十六年没
- 二十五回忌 平成元年没
- 十七回忌 平成九年没
- 十三回忌 平成十三年没
- 七回忌 平成十九年没
- 三回忌 平成二十三年没
- 一周忌 平成二十四年没

## 編集後記

★今年の夏は異常気象で大変過ごしくくて、体調をくずされた方も多かったのではないだろうか。みなさまお元気に秋を迎えられているといいですね。

★コスモス、ススキ、桔梗、萩、ふじばかまなどの秋の花が咲いています。実りの秋を迎えましたが、収穫をまじかにひかえた稲が、あちこちで倒れているのを目にしました。お米の収穫は大丈夫でしたでしょうか。

★台風18号に伴う嶺南の大雨被害は、土砂災害や浸水の被害が出ました。いまなお若狭町の常神半島では、3区が依然孤立したままだとの事。早期の復旧を願わずにはおられません。自然がわたし達になにかを訴えているのかもしれない。

★キラリと光る明るいニュースもあります。平成30年には福井で国体が開催されます。平成32年には、日本のオリンピック開催が決定されました。おもてなしという、言葉が話題になりましたが、大切な日本人のこころは、持ち続けたいものです。